

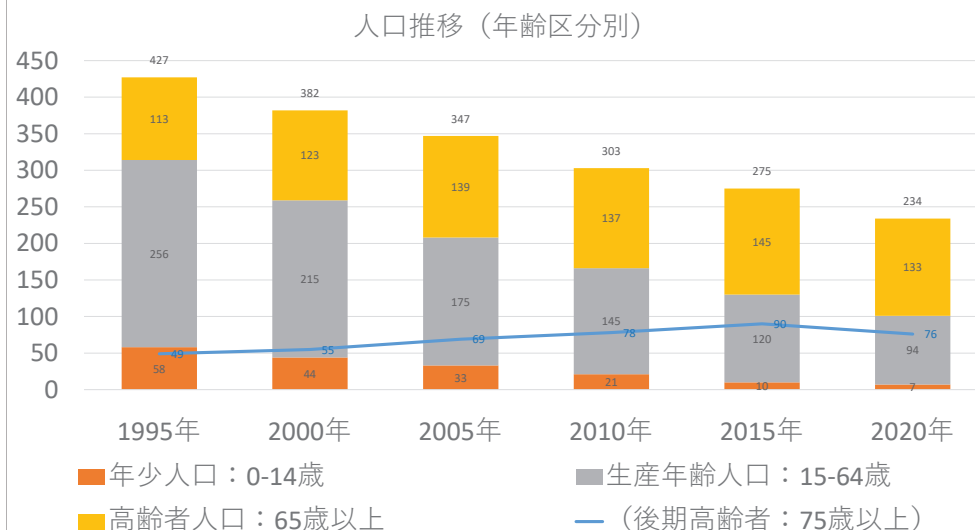
データと地域の皆さまの語りから見た 室生集落の現状

～まちづくり・オーラルヒストリー調査の結果報告～

大阪公立大学・都市計画研究室（代表：岡崎辰哉）

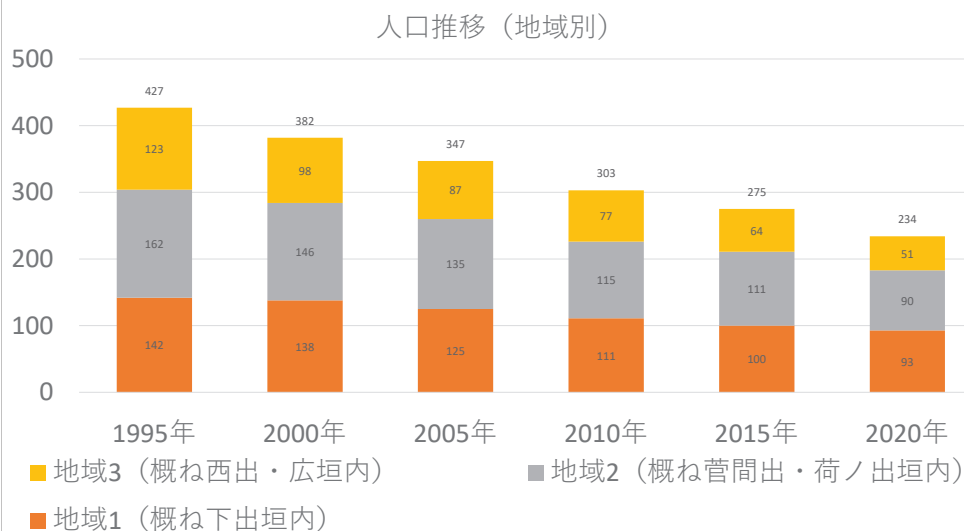
地域現状 - 集落全体の人口推移 -

年少人口と生産年齢人口は大幅に下がっているものの、高齢者人口・後期高齢者人口は2015年頃まで増加し続けている。



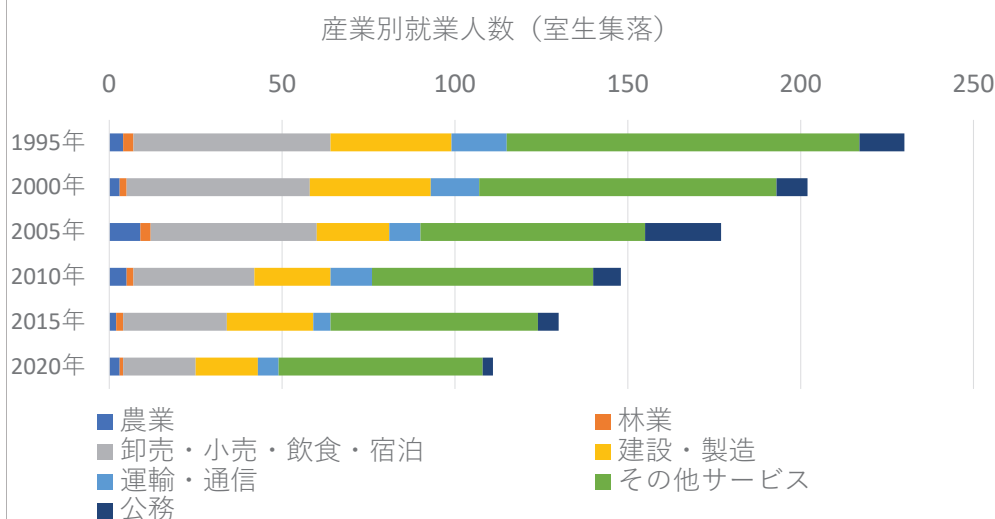
地域現状 - 垣内別の人口推移 -

どの垣内も人口が大幅に減少し、特に西出垣内と広垣内の人口がここ25年間で半数以下になっている。



地域現状 - 産業 -

それぞれの産業が減少傾向にあるが、特に卸売・小売・飲食・宿泊の産業就業人数が大幅に減少している。



地域現状 - 室生寺の参拝者数 -

◆ 室生集落の代表的な観光スポットである室生寺は、過去最高の参拝者数から現在では約1/3程度まで減少している。

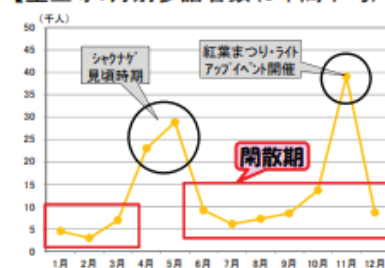
◆ 一方、PRやイベントを開催すると、参拝者数が一時的に増加していることが分かる。

◆ また、年間通して、シャクナゲの見ごろ時期と紅葉祭りやライトアップイベントの時期には参拝者数が大幅に増加しているが、それ以外の閑散期は極端に参拝者数が少ない。

【室生寺：参詣者数の推移】



【室生寺：月別参詣者数(5年間平均)】



地域現状 - 山上公園の観光客 -

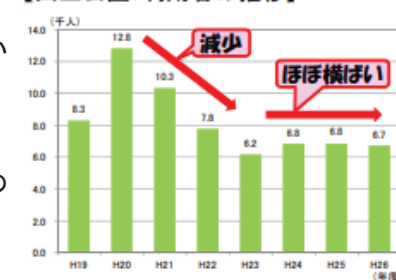
◆ 2006年にできた山上公園も室生寺に次いで、室生集落の観光スポットとなっている。

◆ 完成時には、利用者数が多くなっていたものの、現在ではほぼ横ばいとなっている。

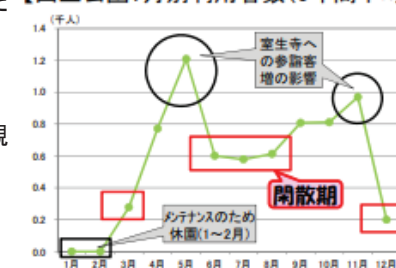
◆ また、室生寺の参拝者数の変動に連動した閑散期の利用者数の減少が見られる。

◆ 山上公園や室生寺以外にも、龍穴神社も観光スポットとなっている。

【山上公園：利用者の推移】



【山上公園：月別利用者数(5年間平均)】



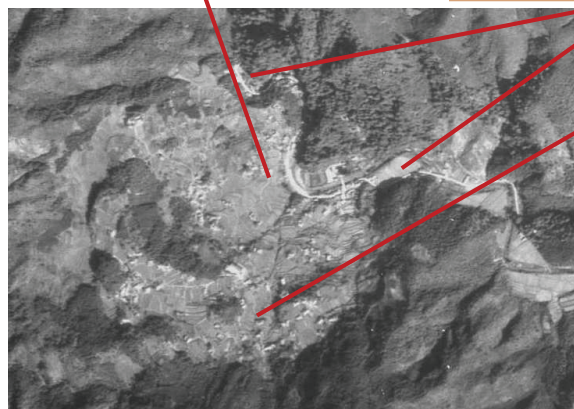
語り編 - 1950年頃

「室生寺の中とかその周りで遊びまわっていました。」

「西垣内と広垣内は仙人橋の下で、菅間出垣内、荷ノ出垣内、市も出垣内は郵便局の裏で遊んだ。」
「室生川魚釣りはようしてた。」

「もともとは道がなくて瓦が運べなかったから、菅間出の方はかやぶきやったんです。」

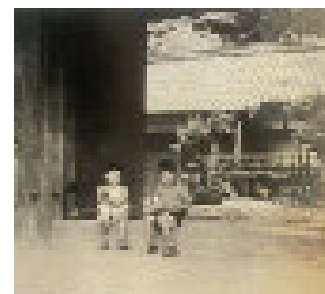
□ 活動に関する
オーラルヒストリー
□ 場所や環境に関する
オーラルヒストリー



1947年の航空写真

語り編 - 1950年頃

- ◆ この頃の室生寺は室生集落の人々が日常的に利用する空間であった。
- ◆ 特に子供たちの遊び場であったという口述が多く見られた。
- ◆ 室生川も子供たちの遊び場になり、釣りなどが多く行われていたこと分かる。



室生寺の写真



門前町の写真

語り編 - 1960年頃

「(伊勢湾台風は)怖かった。」
「伊勢湾台風で広垣内の室生川の川床に建って建物が全部流れた。」

「伊勢湾台風後に観光客が増え始めた。」



「私らが頑張って集落の周りの道路をつけてもらった。」

- 活動に関する
オーラルヒストリー
- 場所や環境に関する
オーラルヒストリー

1961年の航空写真

11

語り編 - 1960年頃

- この頃を生きていた室生集落の住民のほとんどが伊勢湾台風の室生川の氾濫について、**恐怖心を強く抱いている**。
- 集落内や集落と集落外をつなぐ道路が整備されたことにより、集落の空間に変化が現れ、同時に**観光地化が進みだした**こと分かる。



伊勢湾台風の室生川沿いの被害



伊勢湾台風の太鼓橋の被害

12

語り編 - 1975年頃

「いろんな魚がおった。アマゴもおったし、サンショウウオもおった。」
「ダムが出来たぐらいから、室生川の魚がだんだん減りました。」

「バスが来るまでは小学校の校庭で遊んで、バスで帰ってからは室生寺さんで遊んでました。」
「観光客とかは気にせず、遊んでた。」
「会式(春のお祭り)の時に境内に屋台が出て、それを買に行くのが楽しみでした。」



- 活動に関する
オーラルヒストリー
- 場所や環境に関する
オーラルヒストリー

1976年の航空写真

13

語り編 - 1975年頃

- この頃までは、室生川でも釣りが行われていた。
- 1973年の室生ダムの建設頃から室生川の生物に変化があり、**釣りをする人が減っていた**ことが分かる。
- 室生寺を利用する子供は観光客を意識せず、遊んでいたことから、室生寺は**住民らによって日常的に利用されていた**ことが分かる。



門前町の写真

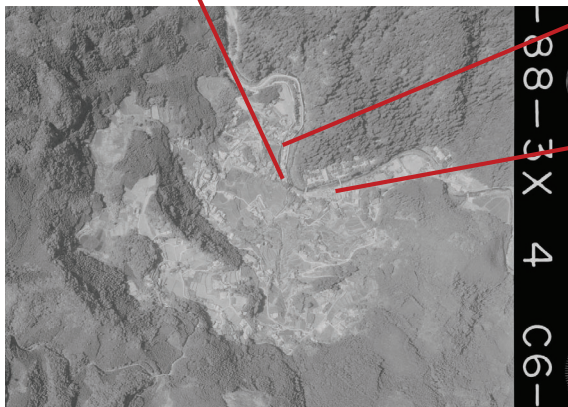
14

語り編 - 1990年頃

「土日は弟たちが家業の邪魔にならないように室生寺まで遊びに連れて行っていました。」

「1990年代ぐらいが観光客のピークでした。」

「室生口大野から集落に車で来るのに4時間くらいかった。」



1988年の航空写真

「川はちょっと危ないっていうイメージがあったから、そんなに泳いだりとかはあんまりなかった。学校とかで言われた。」

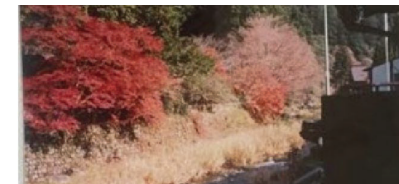
- 活動に関する
オーラルヒストリー
- 場所や環境に関する
オーラルヒストリー

15

語り編 - 1990年頃

- 多くの住民がこの頃に**観光客がピーク**であつたと語っている。

- この頃の子供は、**室生川が危ない場所**と育てられており、あまり近寄らなくなった。



室生川の写真



門前町の写真



門前町の写真

16

語り編 - 2005年頃

「室生寺や門前町がなんとなくおもてなしの場という感じがしてます。」
「なんか寂しいお寺になったなと思いました。」

「室生寺で勤めていた父が亡くなってからは、室生寺のこともよくわからなくなってしまって、あんまり行かなくなりました。」



2004年の航空写真

「2000年くらい以降で一気に畑が荒廃した。」

- 活動に関する
オーラルヒストリー
- 場所や環境に関する
オーラルヒストリー

17

語り編 - 1950年頃

- 室生寺と室生集落の住民の関係性が弱まっていることが分かる。

- その要因として、

↳ 室生寺への観光客の増加による**おもてなしの空間**となったこと

↳ **家族や親戚の働き場所**として室生寺と関わってきていた室生村の住民にその関係がなくなったこと

などが考えられる。

- 室生集落の内側の畑の荒廃が進んだ。

18

語り編 一好きな風景

- 自宅から室生寺方向を眺める風景が好きだという口述が多い。
- 集落を歩いている時に単に「開けた方向を見る風景が好き」という口述も見られた。



現在の航空写真



結論 - 総括

室生寺との室生集落の住民について

- 室生集落の住民に共通して、幼少期に室生寺で遊んだという話が語られた。
- 室生寺は、室生集落の住民にとって「**日常的な利用の空間**」であったが、観光化が進んだ結果、2000年頃に「**観光客のためのおもてなしの空間**」になった。
- 一方、自宅から室生寺を眺める風景が好きだという口述内容が複数見られたこと等から、住民の室生寺への愛着は残っていると考えられる。

集落の世代や場所について

- 70代以上の世代は、幼少期の活動場所が垣内ごとで分かれていたと語られ、現在も垣内ごとの活動や自治会を重視していた。
- 一方、50代以下の世代は、垣内ごとに分かれるほど同世代の住民がいなかったと語られ、現在も垣内ごとの活動や自治会よりも集落全体のまちづくりを重視していた。
- 集落のまちづくりについて、**世代間で考え方が違っている**。

結論 - 今後の展望

- 観光客数が減少し、室生寺の状況が再び変わった現在、**室生寺と室生集落の関係性を再認識**する必要があると言える。
- そのために、本研究結果を地域に共有し、室生集落の住民と共に室生集落のまちづくりについて考えていくことで、**室生集落のまちづくりの将来像を構築**していく。

■大御所世代（80歳代～の方）のオーラルヒストリー：場所との関係

※ほかにも色々なお話をお聞かせ頂きましたが、「集落のすがたを顕在化する」ことを目指して、「場所」が特定できるエピソードを中心に整理しました。

昔のこと	最近・現在のこと	好きな景色
------	----------	-------

※1つのフキダシに、複数の方の発言をまとめて記載しています。
※下図：1947年の航空写真

・山上公園の話が出たとき、それは良いとなったけど、観光客が来るなら道をつけなあかん。それを僕ら自治会の役員が頼みに行った。

・山上公園は、割と行く人が少なかったけども、最近なって市が相当PRしたんで増えた。
・僕らにはあんまりメリットない。友達が来たら室生寺もやけど、山上公園にも連れていく。

・(伊勢湾台風(1959)までは川沿いに20軒以上あって。全部流れてしまった。旅館も魚屋もやとった。
・あそこに大きな旅館あって、もうふわっと浮いてな。

・戦後10年頃は杉林はほとんどなかった。

・S30年以前は水道なかった。井戸水とか池に水を汲みに行った。バケツとか桶で水汲みして、ほんで風呂場入れて、炊事場のバケツに入れたりしてたわ。

・(当時の室生小学校／現・改善センターで)カルタしたり、でっかいコマ回したり。
・饅頭屋さんは2軒あった。今も門前にある森本饅頭と、(昔は)改善センターの下に1軒あった。

・「あさぎりホール」って、僕が名付けた。
・昔はあさぎりホールの前に農協があった。農協を青年が集まる会館として、みんなが集まっていた。

・「あん寺」で行事して、それで集会しとった。(H10年頃まで)

・家から室生寺と山全部を見れる。ちょっと向こう行ったら、もう丸見や。良いわ。

・(仙人橋)昔は西垣内・広垣内の子らは仙人橋の下で遊んでた。菅間出・荷ノ出・下出の子らは、郵便局の裏手の飛び込めるところがあって、そこで遊んでた。(そこで)キュウリやトマトもって塩付けて食べたりな。

・学校が終わったらすぐに室生寺に遊びに行った。寺の森とか。

・(妻の出産のとき)S38年豪雪で、当時は田んぼの畦道、ずっと細い道を父に担いでもらって室生寺方向まで降りて行っった。

・(室生寺と)全部関わりある。みんな室生を守ってもうとる。

・(伊勢湾台風の後くらいから)相当なお客さんで。観光バスはもう渋滞してな。朝からどんどん増えてきて。室生口大野から室生寺に着くまで3時間も4時間もかかった。

・昭和50年頃からお寺の値打ちが下がってきた。そこから、観光客の入場料をもらうようになって、あれ(拝観受付)をあそこ建てはってな。

・(会式：えしき)色々な人が来た。(屋台が出ていて)地元だけじゃなく、外の人も。

・(H10年に室生寺が損傷した際)それはもうお金貰わずに。室生のことやから、みんな(復旧に)出た。

・(郵便局を降りた川)菅間出・荷ノ出・下出の子らは郵便局のところ(川)で遊んでた。

・小さい頃の思い出深い遊びといったら、池か川で釣り。
・川で遊ぶちゅうだけ。僕らも小さい時やったらタモもって釣りにいった。もう釣りに行く人おらへん。
・昔はアマゴがようおった。鮎もおった。
・水もたくさんあった。(釣れなくなったのは)水が変わってからやな。やっぱり水が少なくなった。水が大事。

・毎日、何十年と犬を連れて神社まで散歩している。ふっと空向いた時に、山にパーッと霧がかかって綺麗やった。

・(門前町の道路)うちの親父が働きかけて、その時の知事やらに設計もちゃんと協力してくれて。(門前町の上にう回する案が出た)けれど、店の方が反対して。うちの商売上がったや言うて。そんでな私らが頑張って運動して、今の道整備した。

(エリア外)

【室生口大野】：アイスクャンデー屋ができて、弁当箱を持って、買いに行っ、ほいで弁当箱に入れて帰りましてん。けどね、見るたびに溶けて、家帰る時には水になった。

【室生ダム】：(整備で)土地提供するのにもものすごく反対した人もいっぱいおった。それを我慢して、道つけてくれて今の状態になった。
室生ダムができてから、(室生川の)水が変わったな。

室生の謂れ、歴史、大事にしてきたこと…

- ・大昔、垣内は2つに別れてとったんよ(仲が悪かった)。ほんで、(室生寺/龍穴神社の)管長さんが「1年に1回ぐらいは喧嘩せんと仲良くせ」と言うて、太鼓台(秋祭り)が始まった。
- ・若い人は信用せんかも…日本の古事とか日本書とか、いろいろと伝説でやってきたから。僕はやっぱり伝説も大切やなと思う。
- ・室生寺にお勤め始めてから、室生寺を知った。この集落にとって、室生寺が大切なんやって。昔の人は、室生寺のことをよく分かってた。今の若い人たちは全然知らへん。
- ・(室生寺への愛着に対して)お寺そのものに愛着があるというよりは、包む山全部っていうか。
- ・門前町の道が完成して、そしたら観光バスが来て観光客がほんま増えるようになった。そらええことはええねんけどな。やっぱり神秘性に飛んだ村やったから、うん、そうですよ。

室生の将来に向けて…

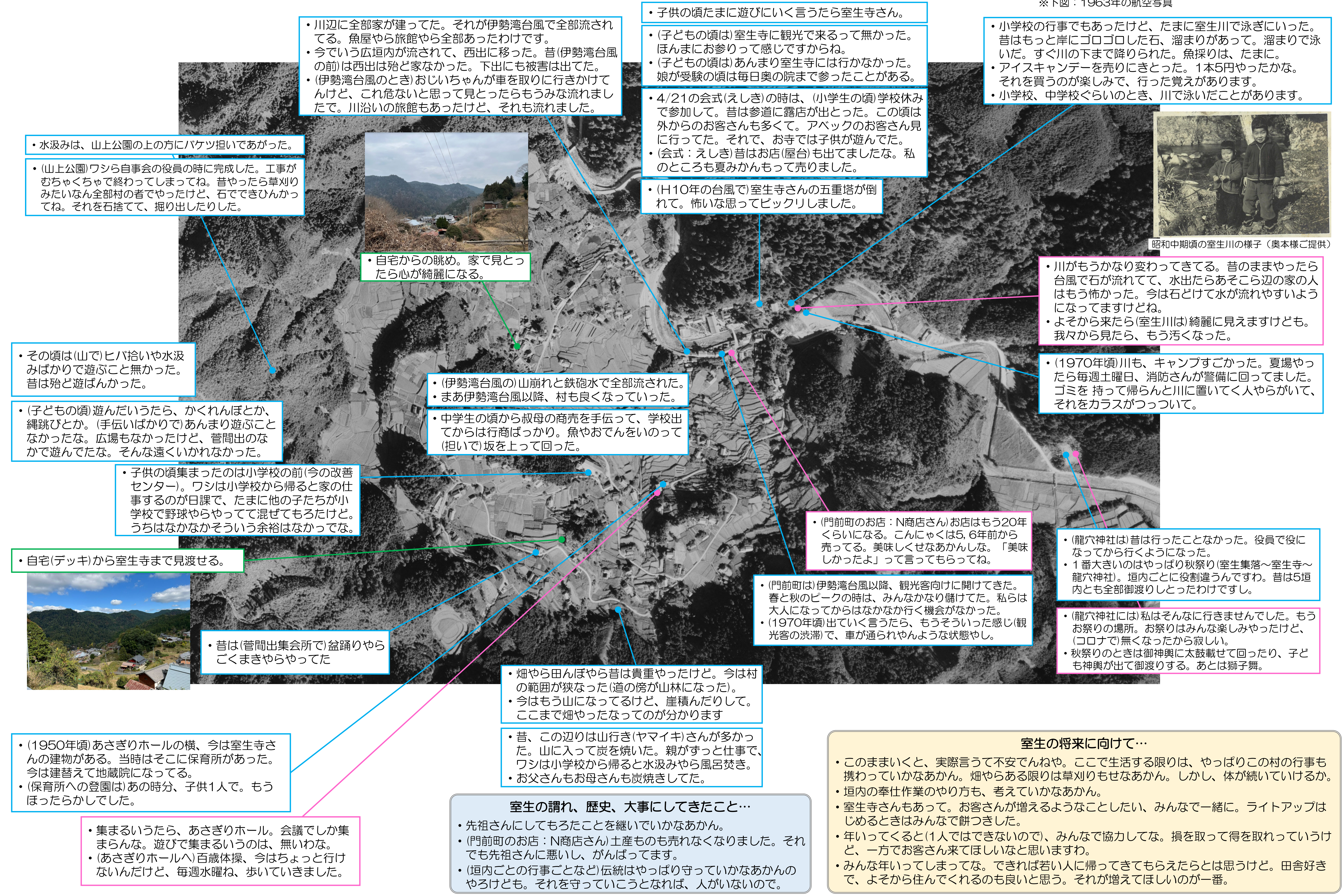
- ・人との繋がりがやっぱり大事。
- ・観光客は増えてほしい。店屋さんを増やさなあかんあ。
- ・(移住に対して)やっぱり、慣れるまで分からへん。移住してきて…という人は室生には殆ど来てない。

■ベテラン現役世代（70歳代の方）のオーラルヒストリー：場所との関係

※ほかにも色々なお話をお聞かせ頂きましたが、「集落のすがたを顕在化する」ことを目指して、「場所」が特定できるエピソードを中心に整理しました。

昔のこと	最近・現在 のこと	好きな景色
------	--------------	-------

※1つのフキダシに、複数の方の発言をまとめて記載しています。
※下図：1963年の航空写真



- 川辺に全部家が建ってた。それが伊勢湾台風で全部流されてる。魚屋やら旅館やら全部あったわけだ。
- 今でいう広垣内が流されて、西出に移った。昔(伊勢湾台風の前)は西出は殆ど家なかった。下出にも被害は出た。
- (伊勢湾台風の時)おじいちゃんが車を取りに行きかけてんけど、これ危ないと思って見とったらもうみな流れましたで。川沿いの旅館もあったけど、それも流れました。

- 水汲みは、山上公園の上の方にバケツ担いであがった。
- (山上公園)ワシら自事会の役員の時に完成した。工事がむちゃくちゃで終わってしまっけね。昔やったら草刈りみたいな全部村の者でやったけど、石でできひんかってね。それを石捨てて、掘り出したりした。



- 自宅からの眺め。家で見とったら心が綺麗になる。

- その頃は(山で)ヒバ拾いや水汲みばかりで遊ぶこと無かった。昔は殆ど遊ばなかった。

- (子どもの頃)遊んだいうたら、かくれんぼとか、縄跳びとか。(手伝いばかりで)あんまり遊ぶことなかったな。広場もなかったけど、菅間出のなかで遊んでたな。そんな遠くいかれなかった。

- 子供の頃集まったのは小学校の前(今の改善センター)。ワシは小学校から帰ると家の仕事するのが日課で、たまに他の子たちが小学校で野球やらやってて混ぜてもらたけど。うちはなかなかそういう余裕はなかったな。

- 自宅(デッキ)から室生寺まで見渡せる。



- 昔は(菅間出集会所で)盆踊りやらごくまきやらやってた

- (1950年頃)あさぎりホールの横、今は室生寺さんの建物がある。当時はそこに保育所があった。今は建替えて地蔵院になってる。
- (保育所への登園は)あの時分、子供1人で。もうほったらかしでした。

- 集まるいうたら、あさぎりホール。会議でしか集まらない。遊びで集まるいうのは、無いわな。
- (あさぎりホールへ)百歳体操、今はちょっと行けないんだけど、毎週水曜ね、歩いていきました。

- 子供の頃たまに遊びにいく言うたら室生寺さん。
- (子どもの頃は)室生寺に観光で来るって無かった。ほんまにお参りって感じですからね。
- (子どもの頃は)あんまり室生寺には行かなかった。娘が受験の頃は毎日奥の院まで参ったことがある。
- 4/21の会式(えしき)の時は、(小学生の頃)学校休みで参加して。昔は参道に露店が出とった。この頃は外からのお客さんも多くて。アベックのお客さん見に行ってた。それで、お寺では子供が遊んでた。
- (会式：えしき)昔はお店(屋台)も出てましたな。私のところも夏みかんもって売りました。
- (H10年の台風で)室生寺さんの五重塔が倒れて。怖いな思っってビックリしました。

- (伊勢湾台風の)山崩れと鉄砲水で全部流された。まあ伊勢湾台風以降、村も良くなっていった。
- 中学生の頃から叔母の商売を手伝って、学校出てからは行商ばかり。魚やおでんをいのって(担いで)坂を上って回った。

- 畑やら田んぼやら昔は貴重やったけど。今は村の範囲が狭なった(道の傍が山林になった)。
- 今はもう山になってるけど、崖積んだりして。ここまで畑やったなってのが分かります

- 昔、この辺りは山行き(ヤマイキ)さんが多かった。山に入って炭を焼いた。親がずっと仕事で、ワシは小学校から帰ると水汲みやら風呂焚き。
- お父さんもお母さんも炭焼きしてた。

室生の謂れ、歴史、大事にしてきたこと…

- 先祖さんにしてもろたことを継いでいかなあかん。
- (門前町のお店：N商店さん)土産ものも売れなくなりました。それでも先祖さんに悪いし、がんばってます。
- (垣内ごとの行事ごとなど)伝統はやっぱり守っていかなあかんのやろけども。それを守っていこうとなれば、人がいないので。

- (門前町のお店：N商店さん)お店はもう20年くらいになる。こんにゃくは5,6年前から売ってる。美味しうせなあかんしな。「美味しかったよ」って言ってもらってね。

- (門前町は)伊勢湾台風以降、観光客向けに開けてきた。春と秋のピークの時は、みんなかなり儲けてた。私らは大人になってからはなかなか行く機会がなかった。
- (1970年頃)出ていく言うたら、もうそういった感じ(観光客の渋滞)で、車が通られやんような状態やし。

- (龍穴神社は)昔は行ったことなかった。役員で役になってから行くようになった。
- 1番大きいのはやっぱり秋祭り(室生集落～室生寺～龍穴神社)。垣内ごとに役割違うんですわ。昔は5垣内とも全部御渡りしとったわけだし。

- (龍穴神社には)私はそんなに行きませんでした。もうお祭りの場所。お祭りはみんな楽しみやったけど、(コロナで)無くなったから寂しい。
- 秋祭りのときは御神輿に太鼓載せて回ったり、子ども神輿が出て御渡りする。あとは獅子舞。

- 小学校の行事でもあったけど、たまに室生川で泳ぎにいった。昔はもっと岸にゴロゴロした石、溜まりがあって。溜まりで泳いだ。すぐ川の下まで降りられた。魚採りは、たまに。
- アイスクャンデーを売りにきとった。1本5円やったかな。それを買うのが楽しみで、行った覚えがあります。
- 小学校、中学校ぐらいのとき、川で泳いだことがあります。



昭和中期頃の室生川の様子（奥本様ご提供）

- 川がもうかなり変わってきてる。昔のままやったら台風で石が流れてて、水出たらあそこら辺の家の人はもう怖かった。今は石どけて水が流れやすいようになってますけどね。
- よそから来たら(室生川は)綺麗に見えますけども。我々から見たら、もう汚くなった。

- (1970年頃)川も、キャンプすごかった。夏場やったら毎週土曜日、消防さんが警備に回ってました。ゴミを持って帰らんと川に置いてく人やらがいて、それをカラスがつつついて。

室生の将来に向けて…

- このままいくと、実際言うて不安でんねや。ここで生活する限りは、やっぱりこの村の行事も携わっていかなあかん。畑やらある限りは草刈りもせなあかん。しかし、体が続いていけるか。
- 垣内の奉仕作業のやり方も、考えていかなあかん。
- 室生寺さんもあって。お客さんが増えるようなことしたい、みんなで一緒に。ライトアップはじめるときはみんなで餅つきした。
- 年いってくると(1人ではできないので)、みんなで協力してな。損を取って得を取れっていうけど、一方でお客さん来てほしいなと思いますわ。
- みんな年いってしまっけな。できれば若い人に帰ってきてもらえたらとは思っけけど。田舎好きで、よそから住んでくれるのも良いと思う。それが増えてほしいのが一番。

■若手世代（40歳代～60歳代）のオーラルヒストリー：場所との関係

昔のこと

最近・現在のこと

好きな景色

※1つのフキダシに、複数の方の発言をまとめて記載しています。
※下図：1947年の航空写真

• 夏と冬は観光客が少ないので、その時期は駐車場で自由に遊んでた。
• 光源氏が流行ってて、ローラースケートやってた。

• あーなんか寂しいお寺になったと感じた。
• 綺麗すぎるんですよね。綺麗すぎて使ってないって感じがですね。
• 室生集落の人は里帰りの時に参拝したり、ライトアップするときに見に来たりとかで、しょっちゅう来ているイメージはない。
• 遠慮するようになってきた

• 室生寺は本当に庭みたいな感覚。
• 液体かけられたとかで、セキュリティが厳しくなった。

• お稚児さんは室生保育園のころは強制参加やった。
• 子供のころはやりたくなくて、顔に書かれんのが嫌やった。
• 化粧するの嫌やって一人だけ言ってた。
• お稚児さんの時は、参道の入り口にお店が出てて、子供のころはそれが結構楽しみやった。
• 屋台が3、4軒出とったんやけど、くじが一番楽しかった。

• 幼稚園の裏手から入る場所もあったし、郵便局の前からも入れた。やまいきさんがおって、室生寺への道もたくさんあったんよ。

• （H10年に室生寺が損傷した際）避難の時は仕事してたから、雨降ってルナぐらいの感覚。それで山の方からガキガキって聞こえて、後から聞いたら、大変なことになってた。

• 並びは変わってないけど、建物も錆びたぐらい。

• 観光客の写真撮って100円貰って、そのままだるま屋さんでビックリマンチョコを買った。

• 若ければ若いほど人が多かった。

• 親は野口商店で買い物してた。

• ボードゲームがあるゲーセンがあった。

• 門前町の利用者は地元の人と観光客の両方やった。

• 柿の木も結構あった。

• 猿が結構来ましたね。

• 太鼓橋の下に入ることができたから、そこに秘密基地とか作って遊んでた。

• 探検でそこら中うろうろしてた。

• 住民の人は室生寺より龍穴神社にルーツを感じてるんだと思います。

• 龍穴神社も行った。お堂の下にも入った。

• 最近はパワースポットで有名になってきて、人集まっている。

（畑について）

• 隣の畑のモノをちょっと頂いたり。

• 稲がない時期はゴルフもしてた。

（気候について）

• 冬はよく雪が積もってた。引かれたらあかんから、道路でそりとかはやってないけど、かまくらとかは作って遊びました

• クワガタ、カブトムシとかは取りに行ったな。

• 子供会とかで集まるときは。生活改善センターに集まりました。
• 子供会ではクリスマス会とかあったし、夏はキャンプもやった。
• キャンプファイヤーもした。

• 生活改善センターから室生寺を見ろした感じはいいんちゃうかな。特に桜の時期とか。

（垣内について）

• 垣内ごとの違いなんかはよく分からなかった。
• 僕らより若い世代はもう地元のつながりって、あまりないのかも。

• 垣内はややこしくて、一応、明確に区切りができるんですが、引っ越ししてきた人が飛び地みたいになったりする。

室生の将来に向けて…

• とりあえず、1番に思ってることは維持ですね。自分の世代でこれをなくしてしまうっていうのが 最も自分の人生では辛いことかなと。
• 門前はお寺のためにやってるっていう話を聞いたことがあるけど、お寺側もお寺だけじゃ無理だから、“門前の人たちお願いしますよ”っていう気持ちでいなきゃいけないし、門前の人たちはお寺があるから、自分たちは成り立ってるんだって思ってもらえるような風にしていきたい。そういうそのお互いの操乗効果があって、お互い支え合ってるっていうような感じの雰囲気作りができればいいのかな。
• 観光する場所を増やしていかなとあかん。
• 人口はね、減るよりは増えた方がええとは思う。その若い人とかに、来てもらえるような体制作りをしなあかんっていう課題がある。
• 観光客に来てもらった方が、盛り上がっていいかなとは思う。だから、若い人は増えてもらった方がうれしい。若い人の意見ってのは、色々取り込んでいかなあかんっていうのもある。
• 自治会の問題なんですけど、僕らはもうその垣内と関係なしに付き合いがあるんですけど、集落の人数も減ってきてしまっているの、集落全体で自治会もやっていけたらと思っている。
• 古いええところは残して、やっぱり助け合いとか、人数の少ない垣内のフォローをし合って、奉仕の精神じゃないですけど、そういう心がけてやってたら、もちろん上手いこといくと思います。